

令和5年度第2回長崎市総合教育会議 会議録

- 1 日 時 令和6年2月13日(火) 15時00分～16時30分
- 2 場 所 長崎市役所 8階 庁議室
- 3 出席者 **【市長】**
鈴木市長
【教育委員会】
橋田教育長、中西委員、小原委員、田崎委員、松尾委員
- 4 事務局 **【市長部局】**
企画財政部長、企画財政部政策監、都市経営室長、同室主幹
【教育委員会事務局】
教育総務部長、総務課長、同課課長補佐
学校教育部長、学校教育課長、教育研究所長
- 5 次 第
(1) 開会
(2) 内容
ア 市長挨拶
イ 新任教育委員紹介
ウ 少子化対策プロジェクトアクションプランについて
エ 意見交換
オ その他
・令和6年度第1回総合教育会議の議題について
(3) 閉会

6 議 事 以下のとおり

事務局 (市長部局)	<p>【15：00 開会】</p> <p>本日はお忙しい中、ご出席賜りまして誠にありがとうございます。 ただいまから令和5年度第2回長崎市教育総合会議を開催いたします。</p> <p>【市長挨拶】</p> <p>それでは、お手元に配布している次第にそって、進めさせていただきます。 次第の「2 新任教育委員の紹介」について事務局から説明をお願いします。</p> <p>【教育委員紹介】</p>
市 長	<p>それでは、次に、次第の「3 議事」に入ります。 (1)の「少子化対策プロジェクトアクションプラン」について、事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>【事務局説明】</p>
市 長	<p>それでは、ここからは、「3 議事」の(2)意見交換に入ります。先ほど事務局から説明させていただいた内容について、ご意見、ご質問等がございましたらお願いします。</p>
委 員	<p>人口流出について、福岡や東京など仕事上の移動はやむを得ないと思いますが、諫早市と大村市に転出している理由として、仕事については長崎市が多いのではないかと思います。長崎市と他市で住居費はどれくらい違うのでしょうか。</p>
事 務 局	<p>現在数値などは持ち合わせてはいませんが、住居費は、他市は長崎市より安価であるというのは承知しています。</p> <p>市の職員でも、市役所で働くが、家は大村や諫早にあり、JRで通うために駅から近いといったところに住むなど、長崎市の電停沿いと比べると非常に安い価格で同じ広さの住宅もあるし、マンションなども最近できているということもあり、そのような意味で諫早、大村に転出している状況もあります。</p>

委員	<p>民間のマンションが随分建っているようですが、そう安くはないと思います。色々な支援の形として、マンションに住みたい方への具体的な支援策がないのでしょうか。</p>
事務局	<p>委員がおっしゃるように、今市内には結構マンションが建っています。高層で価格が非常に高いということで、若い世代にはなかなか手が届きにくい状況です。</p> <p>今市内に足りていないと考えているのが賃貸住宅です。2LDK、3LDKの主に子育て世代が住む住宅が供給不足ではないかと思い、分析を行っています。</p> <p>どのような支援ができるか難しいところではありますが、現在、「住みよかプロジェクト」の一環として、民間の若い世代向けの住宅を作っている企業に光を当てる取組みを行っているので、引き続き進めていきたいと思います。</p> <p>また、市役所にできることとして、要件の緩和があります。</p> <p>市内マンションの建物は、容積率を緩和することで、今までより建てる容積が増えて、価格が安くなるという政策目的がありました。中長期的に粘り強く、市役所としても要件の緩和や世論的見直しを進めていくことが必要だと思います。</p>
委員	<p>アクションプランの「結婚したい人を後押しする取組み」の中に、現状と課題の記載があり、結婚資金や住まいをハードルとして考えている人が多い状況です。結婚資金について何か考えている支援策はありますか。</p>
事務局	<p>結婚支援についての価値観は、かなり変容してきています。この施策を考える際にも若い職員の意見を聞きましたが、若い職員に例えば100万円もらったら結婚するのかと聞いたところ、お金ではないということでした。</p> <p>例えば、100万円を配るとすると、今1600組くらいの婚姻数がありますので、十数億円規模になってきます。施策との効果を考えたときに、なかなかお金を配って結婚させるというのは難しいのではないかと感じているため、民間と連携した取組みが何かできないかと考えているところです。</p> <p>家賃等のハードルについて、建築業界等からも協力を得られることがあればと思います、先進地事例を視察しました。</p> <p>結婚パスポートと言いまして、市役所が発行するパスポートをカップル</p>

	<p>が持っていけば、飲食店でデザートサービスがあったり、結婚式の衣装代が半額になったり、住宅でいえば敷金礼金の割引があったりという取組みを行っていました。</p> <p>人口が増えることによって、民間企業や経済に還元されること、ブライダルの事業者においても、子どもの数や若い人の数が減っていけば、自分たちの事業も冷え込んでくるので、そういった win-win になるような取組みを民間と一緒に連携してやっていきたいと考えています。</p> <p>来年は、民間事業者と連携するための予算は計上しておりませんが、従来の業務の中で営業に回るなど、制度の枠組みを作っていければと考えています。</p> <p>委員 今の質問の付け加えになりますが、少子化対策としては、結婚が一番だと思います。</p> <p>なぜかという、女性教員の独身率がとても高い状況だからです。今年新規採用教員が 200 人程度、ここ数年、年間 200 程度の新規採用教員が生まれている状況です。</p> <p>長崎県全体で採用しますので、全員が長崎市の女性とは限りませんが、長崎市が結構な割合を占めています。仕事で佐世保市や離島に配属される人たちが、将来長崎市に帰ってくるか、どこで結婚できるかということが重要になります。</p> <p>教職員は、休みがあまりなく、出会いの場が少ないということもありますので、出会いの場を設定することが一番大事だと思います。</p> <p>どこかで交流の場を創出するなど、長崎市の若い人たち全員に来てもらうようなイベントなどもいいと思います。表に出ていないデータもあると思いますが、昔のように仲介人さんがいないので、その部分は行政が今後担っていかないといけないのではないかなと思います。</p>
委員	<p>先ほどの質問に関連して、少子化対策として結婚支援が重要だと思います。他の委員がおっしゃったように、出会いが難しいので、出会いの場づくりを行おうとしていますが、マッチングイベントなどに行く時間をとることが難しい場合もあると思います。</p>
事務局	<p>なかなか出会いがないという声もあり、市としても何とか出会いの場を提供したいと考えています。結婚や交際も様々なレベル感があり、もうあと少しで結婚する人、交際もしていない人、結婚に興味のない人、交際しているけれど次のステップへ進みたい人など、様々な段階があるので、ま</p>

<p>委員</p>	<p>ず段階ごとに戦略的な策を打っていければと思います。</p> <p>対象者に合ったセミナーを開催するなど総合的に考えるということや、先ほどおっしゃったマッチングアプリについては、県が実施していますので、県と連携し、相乗効果を生んでいければと考えています。</p> <p>結婚への価値観が変わってきていますので、若い人に聞きながら、しっかり事業を組み立てていきたいと考えています。</p> <p>横尾市営住宅は空きが多く、改装のために部屋を空けていると聞いていましたが、入りたいという話は結構聞いています。横尾以外の市営住宅でも、人を入っていないのはすごくもったいないと感じています。</p> <p>マンションに比べると安価で入居できるなどのメリットがありますし、若い人は安くて部屋数のあるところに入りたいと思うので、市営住宅の活用をご検討いただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>なかなか難しいのは、市営住宅も一気に一棟分空かせればいいのですが、そのようなことは難しいので、虫食い状態になります。</p> <p>その空き家を上手に使えないかと、今建築部とも協議をしながら計画をしている状況です。</p> <p>なかなか新たに市営住宅を建てるのは財政的に難しいので、既存建物の活用は非常に大事だと思います。入居を希望される方と長崎市が所有している既存の建物がうまくマッチングすると、活用されるようになっていくと思うので、ご意見を大切にしながら検討していきたいと思っています。</p>
<p>教育長</p>	<p>先ほどから話が出ている要因分析の中で、県内で諫早や大村へ転出する件ですが、市の職員や身近な人の話を聞くと、近々引っ越すと話があったりします。そのため、若い世代、子育て世代の住まいの支援は非常に大きいという気がしますが、一方で、なかなか行政の施策が少ないのかなと思いつつも、そのような実態があるので、意識してやっていただきたいと思います。</p> <p>また、情報発信について長崎市も色々やっていますが、なかなか伝わっていないようですので、反省も含めて、今回こういう形でアクションプランができましたので、情報発信を特に進めていただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>住まいの支援に関してですが、ご指摘のとおり、諫早や大村への転出や住むところが少なく、費用が高額という課題がありますので、行政でできることは限られていますが、少子化対策という視点を持って、アクション</p>

	<p>プランにそれらの取組みを入れ込んでいくという最初のステップであったと思っています。</p> <p>情報の発信についても、他都市を調べましたが、やっているけどわかってもらえてないのではないかとというのが感想としてあります。</p> <p>現在、ライフステージに合わせてどういうサービスを受けられるのかといった情報発信を行っていますが、若い世代に対して、イメージ戦略も含めて、「こういう子育てをやっている、明るい長崎市、子育てしやすい長崎市です」という働きかけを行うなど、SNSを中心とした情報発信を実施できればと考えていますので、戦略的にこども部、教育委員会と連携しながらやっていければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>教育大綱についてですが、「長崎の未来を創るひとづくり」について、長崎市版のキャリア教育である「長崎 LOVERS プロジェクト」をもう少し展開できないかと思っています。</p> <p>例えば、小学校のまちづくりコンテストは生徒個人の提案であり、中学校の職場体験は、3年間で1職場を見学するので長い時間は取れない状況です。</p> <p>予算はかかると思いますが、職場 DVD を作るなどして、造船や建設現場などの危険な職場や農業・漁業、蚊焼町の刃物づくり職場やビードログラス工房などの職人さんたちがやっているような職場を生徒が見ることができるようにするなどして、様々な職業を学活の時間に学べるようにしていただきたいと思っています。</p>
<p>事務局</p>	<p>今回のアクションプランにおけるキャリア教育の位置づけを簡単にご説明いたします。アクションプランでは、長崎ならではの教育というのがあるますが、「他では体験できない、他ではこんなに育てられない」という、長崎の特色を打ち出しています。</p> <p>他都市と差別化を図る意味で、選択制を持たせた形をとっており、例えば、「長崎の宝発見・発信事業」において、歴史や世界遺産を学習することを通してふるさとの良さを実感していただくこととしています。</p> <p>長崎のまちが持っている資産ですので、それらを活用しながら、このまちで育て、このまちで働いて、このまちで住みたいと思えるような教育を行っていきたいと考えています。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>キャリア教育については、次年度からリニューアルに取り組む予定ですが、中学生の職場体験については、おっしゃるように体験できる職種が限</p>

市 長	<p>られています。重工業や農業・漁業、職人さんがいらっしゃる職場など、入り込みにくいところがありますが、先ほど提案のあった DVD 等は検討したいと思います。</p> <p>今人手不足のご時世ですが、職場体験など、各企業も子どもたちに向けて色々な PR を行っていますが、YouTube や SNS などを使って発信している企業も多い状況です。</p> <p>私は、海上保安庁に勤めていましたが、海上保安庁は、海上保安員を募集するためにプロモーションの DVD や YouTube での動画を作成したり、出前講座の実施などを行っています。様々な取組みを進めているものの、あまりにも情報が溢れすぎていてどれを見ればいいのかわからないというのもあると思います。</p> <p>そこで、市の方で、例えば「職場体験の広場」みたいなポータルサイトを作り、カテゴリ化して、例えば、「モノづくりの現場」など、自分の関心のある分野にすぐ入っていけるようなサイトを作って、企業に集まってもらってはどうかと思います。</p> <p>子どもや教育現場にも見てもらって、場合によっては、総合学習の時間に使ってもらおうといった取組みを市の方でやってみてもいいと思います。</p> <p>対象年齢別に分けるなど、工夫が必要だと思いますが、人手不足解消の一助にもなると思います。</p>
事 務 局	<p>今、雇用情勢は非常に厳しい状況です。人手不足については、企業だけではなく、行政においても同様の状況です。</p> <p>どこの職場も非常に労働者不足であるので、検討していきたいと考えています。</p>
委 員	<p>子どもの遊び場の件ですが、あぐりドームができてから利用していますが、全天候型のため、雨の日などにはかなり利用されているようです。昼頃に行きますが、車の数も多い状況です。利用者の方へ話をお聞きしますと、あぐりドームほどの規模でなくてもいいので、市中心部に欲しいという方もおられるようです。</p>
事 務 局	<p>子どもの遊び場については、子育てのアンケートを取ってもかなり上位にあがります。子育て世代にとって非常に要望が高く、遊び場をまちなかに、さらに全天候型を求めるといった希望は多いようです。</p> <p>ただし、まちなかの中心部にそういった規模の施設を建てるとなると財源と</p>

<p>市長</p>	<p>時間がかかりますが、視点を変えると、アミュプラザの新館ができ、ちょっとしたお子さんの遊び場を作っていただいていますので、そのような民間の取組みに光を当てるというやり方もあると思います。</p> <p>民間企業がこどもの遊び場を作ってくれたら表彰するなど、そのような仕組み作りは大切だと思います。光をどういうふうに当てるのが大事で、公共のものをすべて長崎市が作るということではなくて、民間の方々の力をうまく活用しながら協働していくやり方もあると思います。</p> <p>また、パーク PFI という形を検討しています。先日、東京の池袋南公園を見に行きましたが、パーク PFI を活用した事例も出てきています。</p> <p>例えば、他市では、インクルーシブ公園といって車いすや体の不自由なお子さんが遊べる公園も全国的にできてきているので、そういったものもアイデアとしてあります。</p> <p>次年度、土木部がパーク PFI の検討調査費用を計上予定であるので、企画財政部の少子化対策プロジェクトチームも積極的に関わり、いい公園にできればと思います。</p> <p>私の方からアクションプランについての考え方等について説明させていただきます。アクションプランについては、人口減少対策のために、経済再生、少子化対策、この2つを車の両輪で回していきながら、それを下支えするものとして、新市役所創造ということで、市役所の組織を強くしていくという取組みをまとめたものになります。</p> <p>このアクションプランを策定した意義について、一つ目は外の視点を取り入れたということです。政策顧問という専門家のアドバイスをいただきながら、短期間でアクションプランを作成することができました。外の視点を入れることができたことは大きかったと思います。</p> <p>二つ目は、部局横断的に策定できたことです。教育・子育て分野などは、様々な部局に及ぶもので、本来、縦割りになりがちですが、アクションプランの検討により、部局横断的に取り組むことができました。</p> <p>三つ目として、アクションプラン策定により、施策の見える化ができたことです。人口減少対策は、幅広で総花的になりがちです。体系的に分類して、アクションプランごとの目的・課題を分析し、カテゴライズすることで、市民に対して行政の取組みが見える化され、明確になり、情報発信がしやすくなると思います。</p> <p>このような形で、今後は、アクションプランを基に施策を進め、PDCA サイクルを回しながら、次の計画につなげていくといった努力をこれからも続けて行きたいと考えています。</p>
-----------	---

	<p>その過程において、総合教育会議の委員の皆さんにはご意見を賜りたいと思っていますので、引続きよろしく申し上げます。</p> <p>それでは、本日の次第の「3 議事」の(3)その他に入らせていただきます。</p> <p>令和6年度第1回総合教育会議のテーマなどについて、ご意見をいただきたいと思えます。</p> <p>まずは事務局から、説明させていただきます。</p> <p>【事務局説明】</p>
市 長	<p>それでは、ただいまの事務局の説明に対しまして、ご意見やご質問がある方はよろしくお願ひいたします。</p>
委 員	<p>働き方改革について、時間の負担増だけでなく、働きがいの部分についても考えるような機会があればと思う。</p>
委 員	<p>働き方改革について、他の委員から意見がありましたが、教員の方も時間がないと出会いの場に行けなくなるので、そこも含めてこの働き方改革というところでやったらいいと思えます。</p> <p>また、部活動の地域移行については、全国的に進んでいるのは長与町だと思えるのですが、長与町の取組みについて我々も勉強をしたうえで、現場の先生方のご意見を聞くことも有意義なのではないかと思えます。</p>
教 育 長	<p>現場や学校に出向き、色々なご意見を聞く機会が必要だと思えますので、テーマについては、今出ている働き方や部活動の地域移行も含め、授業を見せていただいて、そのあと先生方とお話をさせてもらう場を作っていただければと思えます。</p>
市 長	<p>それでは、今回いただいた意見をもとに、次回の会議開催へ向けて調整を行いたいと思えます。なお、具体的な日程や内容につきましては、あらためて事務局を通じて、ご連絡させていただきます。</p> <p>今日は、少子化対策アクションプラン等に関しまして、様々なご意見をいただき、誠にありがとうございました。</p> <p>本日皆様からいただきましたご意見を踏まえ、少子化対策やこども施策の推進に取り組んでまいりますので、引き続き、ご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願ひいたします。</p>

	<p>これを持ちまして、第2回長崎市総合教育会議を終了します。 ありがとうございました。</p>
--	--

【16：30 閉会】